
美少年崩壊

ネコガエル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

美少年崩壊

【Nコード】

N8804Z

【作者名】

ネコガエル

【あらすじ】

中学2年の少年少女のお話。

「きゃわっ」

勇巳が奇妙な声を発する。

渡り廊下を通って移動していた時だ。

「え！？何だったん？」

「くつくくく」

顔が引きつっている。不気味だ。

「くくくって何！？めっちゃ怖いんですけどっ」

樹里の顔も強張る。

「くっ蜘蛛おっつ」

半泣き状態で樹里の足元を指差す。

確かに、そこには蜘蛛いた。

「蜘蛛？何故に蜘蛛？そこらへんにいっぱいいるじゃんかつ」

「蜘蛛怖いー！ー！ー！ー！ー！ー！っ！！」

勇巳が、泣き叫ぶ。鼻からは、鼻水。

物凄い顔だ。

「お前の顔の方が怖いわっ。ってかお前美少年だよな！？すんげー顔だぞ？っておいつ。聞いてんのかっ」

走って逃げる勇巳を追いかける。

「蜘蛛嫌あーーーーーっ!!」

勇巳は死ぬ気で走る。

「おいっ。勇巳い!逃げんなよっ」

樹里も全力疾走。

制服のスカート穿いてるにも関わらず。

「うわぁ……。先輩またやってる。ってか樹里先輩、勇巳先輩の蜘蛛嫌い知らなかったんだ……」

それを見ていた後輩の顔も引きつっていた。

「勇巳先輩が蜘蛛大の苦手って、本当だったんだ……」

隣にいた1年も呟く。

「それにしても、凄い顔だったな……」

「うん……」

「蜘蛛だぎゃわぁーーーーーっ!!」

今日もまた、校舎に勇巳の泣き叫ぶ声が響き渡る。

「何で逃げんだよ!？」

そしてまた、樹里の怒鳴り声も響き渡る。

（後書き）

蜘蛛って漢字、いいですよ。なんか、かつこよくないですか。
私、けっこう好きなんです。
本物の蜘蛛は苦手なんですけどね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8804z/>

美少年崩壊

2011年12月27日18時45分発行